

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線334)
FAX63-5139



▲別ショットの写真

今月の表紙

今月の表紙は、里保育園の夏あそび会で行われた、そうめん流しです。そうめんだけでなく、保育園で育てたミニトマトやキュウリも流し、園児たちがおいしくいただきました。夏の風物詩ですね。

こたの民話

ごもんの滝

てんじ天皇がおかれになりました。その後、てんじ天皇の弟のおおあまの皇子と天皇の子どものおおとの皇子とが、天皇の位をめぐって争われました。壬申の乱です。このとき、おわりみかわ(愛知県)の人々は、おおあまの皇子にお味方しました。夫のおおあまの皇子とともに壬申の乱を戦いぬかれたうのの皇女は、てんむ天皇がなくなられてから天皇の位につかれ、女の天皇、じとう天皇となりました。

年老いたじとう天皇は、位を孫のものむ天皇にゆずられた後、藤原の都(奈良県)を後にして、みかわの国(愛知県東部)への旅に出られました。

宝飯郡御津の宮路山に登られた後、じとう天皇は、大草の地にも足を運ばれました。そして、七色の美しい雲のたなびく高い山のふ

もとで、しばらくお休みになされました。

「はるばる都から、さぞお疲れのことでしょう」

「のどもおかわきのことでしょう。さっそくおいしいお水を」と、大草の里の人たちが、山のおく深く、清らかなたきの水をくんで、じとう天皇にさしあげました。

後になって、このじとう天皇が休まれたところに、お社が建てられました。そのお社が今の大草神社の始まりだということです。そして、清らかな水が落ちていた滝を、だれいうとなくみかどの滝と呼んでいましたが、いつからか、「御門の滝」と書かれるようになり、今では、ごもんの滝と呼ばれるようになりました。このたきは、今も大井池の東の山の中にあります。

みんなの作品展!

平成26年度 春の文化展(油絵)からのセレクトです



さのひろし
佐野博さん



とくむらたくま
徳村琢磨さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課情報Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで)

西三河の方言

「米をかす」

きょうは「秋分の日」。我が家の味を伝えようと張り切るおはあちゃん……
「いーかん、ぼたもち(はね)、もち米とうるしを混ぜてかすだね」

「いいですか、おはぎはね、もち米とうるしを混ぜてとべのよ」という意味です。

「米をかす」の「かす」を辞書で引くと、「浸す」か「浙す」と書き、意味は「①水につける。ひたす。②米を洗う。とべ。」と出てきます。①の意味では、米に限らず、大豆でも小豆でも「かす」ことができますが、②の意味で「かす」のは、米しかありません。米は、水にひたしただけでは、おいしいご飯に炊き上がりません。手でこすり合わせる、とべことが肝要です。だから、米に対してのみ、②の意味でも「かす」というようになったのでしよう。

私は毎晩、家内に「米洗つていってね」と言い付けられます。精米技術が進んだからといって、「洗う」なんて汚れてもいない「お米」に無礼だ。かといって、「とべ」というのも、刃物じゃあるまいしと歯がゆい思いをしています。日本人にとって大切なお米。感謝の気持ちを込めて、めげずにかすことにします。

(文・つゆな)



青春トークリレー
第258走者

池田 愛理 さん

坂崎区在住 21歳
血液型 O型 身長 149cm
好きなタイプ 眼鏡をかけている人
好きな芸能人 林保徳、鬼龍院翔

私は今、幸田町内にある施設で働いています。毎日忙しくて大変ですが、お客様の楽しそうにしている姿、うれしそうな顔を見ると私までうれしくなり、自然と笑顔で接客することができます。

お客さまの「楽しかった」や「また来るね」のひとつで、明日も1日頑張ろうという気持ちになれます。これからも来館されるお客さまに満足していただけるような施設の環境づくり、接客を心掛けていきたいです。



9月28日(日)には、消防団観閲式が防災広場で開催されます。火災だけでなく地域の災害復旧に大きく貢献している地元消防団。当日は消防操法など、日ごろの訓練の成果が披露されます。消防車も集まります。お子さんと一緒にお越しください。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



「みんなでがんばった夏遊び会」
「某月某日」
「わした保育園」
わした保育園では毎年7月末に、夏遊び会を行っています。これは、年長児が話し合い創り上げる緣日です。
今年は「小さい子たちを喜ばせよう」と、お化け屋敷・ザリガニ釣り・ゲームコーナー(わなげ・ヘビの綱引き・宝探し・亀積みゲーム)に招待しました。どんなことをやってみたいか話し合いを始める、大人



が発想もしない意見がたくさん出てきて、どんどん盛り上がりました。
しかし、取り組みの過程では、仲間同士、思いやルールを伝え話し合うことの難しさや決めたことを形にしていくなかで大変さをたくさん感じながら、本番を迎えました。小さい子にルールを

伝えることはこれまた大変でした。しかし、とても喜んでくれた姿に疲れもふきとび達成感と自信につながった機会になりました。
必死に頭をめぐらせ、頑張ったこの体験は、秋の運動会やその後の取り組みに必ず活かされることでしょう。



編集者のひょうご

▼先日、台風11号が日本列島を横断し、各地に大きな被害をもたらしました。今月の特集では、防災に関して取り上げています。避けられない自然災害の被害を最小限にするために、日ごろ自分たちで準備できることについて、今一度考えてみましょう。

9月6日(土)には幸田町総合防災訓練が消防署前の防災広場で開催されます。また小学校区や区での防災訓練が自主防災会を中心に開催されます。開催日については区の回覧などをご確認ください。積極的に参加しましょう。

さて、先日は幸田彦左まつりが開催され、中央公園から幸田駅前通りを彦左行列が練り歩きました。みなさん、カメラを向けるとポーズをとって撮影にご協力いただき、ありがとうございました。衣装もバッチリきままって素敵でした。中には7年連続で彦左行列に参加していますというつわものも。今月のフォトニュースでいくつか紹介していますのでご覧ください。ただし、カメラの腕不足で若干ピントが甘い点はご容赦ください。(実際は二割増しの美男美女ばかりでした)